

| | | | |
|---------------|--|----------|--|
| ★学校の教育目標 | 考え工夫する人 協力し進んで働く人 自然や人々を大切にすること 心身を鍛えやりぬく人 | ★重点計画の概要 | (1)コミュニティ・スクールの推進【スクールコミュニティ】 学校運営協議会の充実(学習支援部会と地域連携部会の活用) (2)校内研修の充実【学びの変革・教育DX】 探究的な学び、課題解決力を身に付けさせる授業づくり (3)教育相談の充実【多様な学びと学び方】 不登校対策と多様な学びの支援 (4)生徒会活動の充実【生徒が活躍の学校】 自治活動による主体的に取り組む生徒の育成 |
| ★目指す学校像(ビジョン) | | | |
| 【目指す生徒像】 | 持続可能な社会の創りてとして多様な見方・考え方ができる生徒 探究心をもって個人と社会の相互の成長に貢献し、新たな価値を見いだせる生徒 複雑な状況の変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題解決に当たる生徒 | | |
| 【目指す学校像】 | 生徒・保護者との信頼関係を築き、学校・家庭・地域が連携しながら協働活動を推進し、生徒の自己有用感を育む学校 | | |
| 【目指す教師像】 | 熱意に溢れ、親身に指導する教師 個性を尊重し多様性を認める教師 切磋琢磨し、高め合う教師集団 | | |

| 領域 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 評価指標・評価基準 | | | | 学校評議員・学校運営協議会の意見 | 結果の分析と改善策 |
|----------------------|--|--|--|--|---|------|---|---|---|
| | | | | 評価点 | 取組指標 | 評価点 | 成果指標 | | |
| みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる | 学ぶ力の定着 | <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な学習習慣 授業改善の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習や対話的な学習等にタブレットや学校図書館を積極的に活用し思考力・判断力・表現力を高める。 校内研修を年5回、そのうち3回は授業研究を3回実施し、主体的・対話的で深い学びの工夫改善を行い、授業が分かる生徒を90%を目指す。 | 96.3 | 4 研修を通して、授業力が高まり、わかりやすい授業を行った教員100%以上 | 87.5 | 4 授業の内容がよくわかる生徒が95%以上 | <p>平山中で目指す学力像は「よく分かる」という「知識・技能」を中心としていると推察。「結果の分析」では「思考力・判断力・表現力」を高める取組み(方法)をして目標の具現化を図ったというが、3観点の目標は方法論でなく学力の視点である。学力の向上の面で「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の関連がよく理解できない。「考える力」を重視した「思考力・判断力・表現力」を中心にした学力向上を目指した方がよいのでは。「主体的で深い学びの工夫」個別最適化の学習の視点では、「深い学び」は工夫ではない。「対話的な学び-協働学習」が必須である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 各教科などで学習用端末やICTを活用して調べ学習を活用し思考力・判断力・表現力を高める取組を行ったが、87.5%の生徒が理解できたという実感を高めることができた。 校内研修を5回実施し、各学年1回ずつ、総合的な学習の時間を活用し主体的で深い学びの工夫を行い、探究多岐な学習にも取り組んだ。 |
| | | | | 3 研修を通して、授業力が高まり、わかりやすい授業を行った教員95%以上 | 3 授業の内容がよくわかる生徒が90%以上 | | | | |
| 体力向上 | <ul style="list-style-type: none"> 運動機会の増加 健康な体づくり | <ul style="list-style-type: none"> 運動機会の増加 健康な体づくり | <ul style="list-style-type: none"> 朝や昼休み、放課後の活動や部活動を通して運動機会を増やし、生徒の積極的な運動への取り組みを推進し、体を育て、体力の向上を図る。 望ましい食習慣や健康なからだづくりの指導を充実させ、基本的な生活習慣の基盤を整え、自律心、調整力を育む。 | 96.3 | 4 体を育てる取組に協力している教員100% | 83.4 | 4 運動を頑張り、体が強くなった生徒95%以上 | <p>部活動に、生徒主体となって、一生懸命取り組んでいる姿を多く見かけた。これも先生たちの温かい支援があったからだと推察する。特に吹奏楽部、ハンドメイド部の地域で活躍は光っていた。他の部活も平山ふれあい祭りで活動する姿を見て、平山地域発展のキーパーソンは平山中の生徒たちであることを実感した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 部活動によく取り組んだ生徒は94.3%と高い結果が出ているが、生徒全体が運動に親しみ体力向上に向けて取り組ませることが不足していたと考えられる。 望ましい食習慣や健康的な体づくりに向け、保健体育の授業や給食指導、保健委員会の広報活動などを行った。 |
| | | | | 3 体を育てる取組に協力している教員95%以上 | 3 運動を頑張り、体が強くなった生徒90%以上 | | | | |
| みんなの多様な学びとしあわせをつくる | 多様な学び | <ul style="list-style-type: none"> 自主的に学ぶ生徒の育成 登校支援の充実 特別支援の多様化 | <ul style="list-style-type: none"> 放課後学習教室(SSR)、自習コーナー(ポップコロンタイム)などの機会充実・支援員の充実により自主的に学ぶ生徒を育成する。 カンガルーの活用し、専門機関への相談機会と連携し、生徒の登校支援を行う。 リソースルームの活用し、個に合った学習支援を行う。 特別支援教室(ステップ教室)の活用し、特別な支援を行う。 | 92.6 | 4 意欲的・主体的に取り組む生徒を増やせた教員90%以上 | 91.2 | 4 意欲的・主体的に取り組めた生徒90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 学連協の目標の1つ「学習支援」の取り組みが充実してきたことが見えてきた。主体的な探究学習、問題解決学習、協働学習も意義を理解して生徒の自主的な学習の場の充実を図ってきたい。 不登校対応のカンガルーも年度当初は週3回の実施だったが週5日の実施でき、利用者も植えた。 特別支援教室につながり、個別の支援につなげることができた。 | |
| | | | | 3 意欲的・主体的に取り組む生徒を増やせた教員80%以上 | 3 意欲的・主体的に取り組めた生徒85%以上 | | | | |
| 豊かな人間性 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭、合唱祭等の行事の充実 あいさつの励行 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭、合唱祭等の行事の充実 あいさつの励行 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭や合唱祭などの行事を通して、一人ひとりが多様な物の見方や考え方を広げ、他者と協働し学校行事に取り組む、所属感や連帯感を高める。 生徒会が主体となった自治活動を推進し、あいさつをはじめ、人との関わりを大切に豊かな人間性を育む。 | 100 | 4 体育祭・合唱祭等の行事で、生徒の所属感・連帯感を高めた教員100% | 94 | 4 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒100%以上 | <p>「係や委員会活動に協力して取り組んだ」生徒93.1%と自治活動への参加から、生徒の自主的実践的態度の育成が図られてきてすばらしいと思う。とくに体育祭・合唱祭の成功を目指して、先生たちが生徒の自主的・自主的活動を上手に支援されていたことがすばらしいと思った。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭や合唱祭等の行事を通して他者と協力し、所属感や連帯感を高めるとともに自己肯定感を高めることができた。 生徒会主催の行事や各種委員会の取組も積極的に取り組んでいた。「係や委員会活動に協力して取り組んだ」生徒93.1%と自治活動への参加が評価できた。 |
| | | | | 3 体育祭・合唱祭等の行事で、生徒の所属感・連帯感を高めた教員95%以上 | 3 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒95%以上 | | | | |
| 社会と未来に関き、みんなで作る | 豊かな人間性 | <ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者との協働的な学習 コミュニケーション能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の方との協働学習(職場体験や地域の方の講話)を通して豊かな社会性や望ましい勤労感や職業観を育成する。 生徒会が主体となった自治活動を推進し、あいさつをはじめ、人との関わりを大切に良好な人間関係を構築していく。 | 77.8 | 4 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員100% | 79.3 | 4 地域の方との交流を行い、自分の成長につながった生徒95%以上 | <p>「クラス・学年・社会に役に立ちたい」生徒が92.5%という結果から、地域社会の一員としての自覚を生徒が意識していたという実感を持たせることができなかった。「クラス・学年・社会に役に立ちたい」生徒が92.5%という結果から、地域との関わりを深めて行かせたい。</p> | |
| | | | | 3 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員95%以上 | 3 地域の方との交流を行い、自分の成長につながった生徒90%以上 | | | | |
| 安全安心の推進 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止 安全指導の充実 地域防災 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止 安全指導の充実 地域防災 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会を中心に、いじめ対策基本方針に基づき、いじめを許さない環境を醸成するとともに、相談体制を整える。 セーフティ教室や情報モラル教育を実施し、危機回避、SOSの発信する能力を身につける。 地域の方との協働防災活動や避難訓練を通して、防災意識を高めるとともに、地域に貢献する人材を育成する。 | 100 | 4 「いじめ」や人間関係のトラブル等に丁寧に寄り添う指導を行う教員100% | 88.1 | 4 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等に親身になって応じていると感じた生徒95%以上 | <p>いじめ問題の対応について教職員評価が100%、生徒評価88%、この差の受け止めは重要だと考える。12%の生徒の思いを分析して、いじめの初期対応について、生徒や保護者に対して「感謝」「謝罪」「傾聴・共感」を大切にしていってほしい。</p> <p>土曜参観日に、市防災担当、消防署、学連協等が連携した防災体験教室ができたのだろうか。この体験学習によって、「地域に貢献する人材」の育成につながるのではないかと。</p> | |
| | | | | 3 「いじめ」や人間関係のトラブル等に丁寧に寄り添う指導を行う教員95%以上 | 3 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等に親身になって応じていると感じた生徒90%以上 | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

*評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。